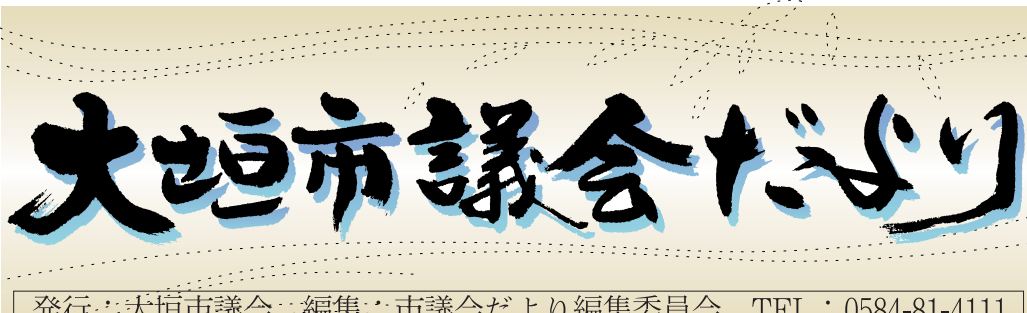


情報の港 大垣市情報工房



発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-81-4111



文化の港 住吉燈台

# 第一回市議会定例会

## 平成十六年度一般会計予算 など三十九議案を審議

一般会計予算	四百九十二億円
特別会計予算	六百五十六億四千六百万円
企業会計予算	三百六億九千四百万円
総計	一千四百五十五億四千万円
予算関係	十九件
条例関係	十六件
意見書	一件
その他	三件

去る三月一日から平成十六年第一回定例会を開会し、平成十六年度大垣市一般会計予算、平成十五年度大垣市一般会計補正予算、大垣市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正、北朝鮮による拉致事件の早期全面解決を求める意見書など三十九議案を審議し、原案のとおり可決し、閉会しました。

奥の細道むすびの地・舟下り芭蕉祭



### 第一回市議会定例会日程

- 三月一日 本会議 提案説明
- 八日 本会議 一般質問
- 九日 本会議 一般質問
- 十日 合併に関する委員会
- 市民病院に関する委員会
- 十二日 中心都市再生に関する委員会
- 大垣駅周辺整備に関する委員会
- 十五日 建設委員会
- 十六日 経済委員会
- 十七日 厚生委員会
- 十八日 総務委員会
- 十九日 議会運営委員会

### 人事案件一件を先議

定例会の初日、大垣地域公平委員会委員に、舟口憲雄氏(古知丸四)の選任に同意しました。

### 平成十六年度予算編成の基本方針

景気の長期低迷から、歳入の根幹をなす市税について個人市民税や固定資産税の土地償却資産が減少するため、三年連続して前年度を下回るほか、国庫補助負担金の廃止・縮減や四年連続の地方交付税の削減、地方交付税の補足を補う臨時財政対策債の削減など、国が進める三位一体改革により歳入全体として大きな影響を受けた。

一方、歳出は市債借入れの抑制を図ってきたが、公債費が依然として高い水準にあるのに加え、少子化対策や介護などの福祉対策経費である扶助費が前年度比七・七%増となるなど、義務的経費の増大により、大変厳しい状況が続いている。

このため、「改革再建予算」と位置づけ、第三次行政改革大綱に基づき、行政評価システムによる徹底した事務事業の見直しや、経費の節減及び職員数の削減、調整手当の廃止など、人件費の削減により、可能な限りの財源確保を図るとともに、事業部制の一層の推進により、予算の効率的な配分に努め、今後とも行政改革を進め、財源確保に努めていく。

### 重点施策「夢ある事業」

未来に向けて、市民が誇りうる大垣創出のための重要政策課題と考え、地域活性化、「安全安心」、「人材育成・IT」、「生活環境」、「地域協働社会」の五分野に、予算を重点的に配分し、めりはりのある予算とした。

「地域活性化」では十五年度に策定した、産業活性化アクションプランの施策を具体的に推進するため、大垣ブランド創出事業をはじめ、レジネス・イン・キューション・フォーラムの立ち上げなどを図り、本市産業の活性化に取り組んでいく。

また、本年は芭蕉の生誕三百六十年に当たることから、既に十五年度から一部事業展開している記念事業をより一層充実し、「おおがき芭蕉生誕三百六十年祭」として実施していく。芭蕉の生きた元禄時代を再現し、体感できる「元禄芭蕉回廊大垣」や、全国の子どもから大人までの幅広い参加を得て、即興句などを楽しめる「東西全国俳句相撲」などの各種事業を、大々的に実施し、地域の活力を生み出していく。事業推進に当たっては、民間と一体となつて推進協議会を立ち上げ、市民や各種団体の協力のもと、積極的に進めていく。

「安全・安心」では、市内の浸水防除対策として、大谷川、杭瀬川などの一級河川の早期改修を引き続き国・県に積極的に要望するとともに、排水基本計画を見直し、支障箇所を中心に改修に努

める。また、東南海・南海地震など巨大地震の発生が懸念される中、地域防災計画の見直しや木造住宅耐震補強工事に対する支援を図り、市民の防災意識の向上と啓発に努める。

子どもへの休日急病に対応するため、新たに土曜日の夜間、大垣市民病院において、小児夜間急患医療事業を開始し、子どもを持つ親が安心して暮らせる医療体制の充実を進めていく。

「人材育成・IT」では、学習意欲がある不登校の小・中学校の児童・生徒に対し、学校復帰のきっかけとなるよう、家庭等へボランティア講師の派遣を行う「ほほえみスタディ・サポート事業」を昨年に引き続き実施する。この事業は、国からの特区の認定により、この四月から、家庭での学習が学校への出席扱いとして認められる。

また、IT分野では既に小学生を対象に実施している「ITものづくり講座」を中学生を対象を拡大し、本市で今日まで培われてきたものづくりに対する気風を確たるものとして、将来の大垣を担う子どもたちに伝えていきたい。

「生活環境」では、本市の財産である、きれいな水と豊かな緑を守るため、積極的な事業展開を図っていく。特に、市民に快適な環境と潤いを与える緑化事業については、緑の都市宣言に基づき、緑いばい推進事業として、公共緑化の推進と併せて、生け垣の設置等に対する支援制度を設けるなど、市民とのパートナーシップのもと、緑の

保全と育成などの諸施策を展開していく。

「地域協働社会」では活発になつてきた市民活動団体等と協働で市街地の活性化や緑化、防犯など、様々な分野で市民協働によるまちづくりを進める。

「効率的な行政」

お客様である市民のため、厳しい財政環境の中、限られた行政経営資源を有効に活用し、より質の高い行政サービスを提供していただけるよう十分に検討する。従来から行政コスト計算書の作成や行政評価システム等に取り組んでいるが、こうした手法に

も市民の意見を取り入れながら、より一層満足を得られるよう努めていく。

「開かれた行政」

十四年度に実施した地域ふれあいトークに続き、十五年度から各種団体と実施しているいきいきトークを継続し、合併など将来の夢について意見交換を図り、行政情報の積極的な公開とあわせて、開かれた行政を推進する。

大変厳しい財政状況であるが、市民サービスを的確に把握し、限られた財源の中で、市民生活に密着した事業を重点的に展開する予算とした。

一般質問
三月八日、九日の二日間、わたり一般質問を行いました。

おおがき芭蕉生誕三百六十年祭について

質問：「おおがき芭蕉生誕三百六十年祭」関連事業が、市の観光産業の起爆剤となるよう期待するが、若者の俳句人口拡大の方策と、若者の必須アイテムである携帯電話のメールによる投句は検討されているのか。

回答：「おおがき芭蕉生誕三百六十年祭」は、芭蕉翁の業績を改めて顕彰し、歴史的、文化的財産を掘り起こし、俳句のまち大垣を全国に情報発信するとともに、市民協働のもと、既存イベントの活用と新たな事業を展開し、文化・交流産業の振興と中心市街地の活性化に努めるものである。この事業を通じて、幅広い層に、楽しみながら気軽に俳句に親しんでいただけるよう、親子句会ライブ、句碑めぐり、東西全国俳句相撲など、大垣らしい多彩な事業を展開し、俳句文化

の香り漂う風土づくりに努める。また、携帯メールなどからの投句も実施していききたい。

土産品開発と販売方法は現在、大垣市観光協会が芭蕉に特化した観光グッズとして、芭蕉さん携帯ストラップや芭蕉茶香炉、便せん及び封筒マットなどの開発が検討されている。また、大垣商工会議所や民間団体などが芭蕉水豆腐、芭蕉水御膳などのおいしい大垣の名物食の開発を進め、大規模小売店や料理店などの普及に努められている。

市民への歴史、観光のPRはあらゆる機会を通じて行い、大垣の魅力を県内外にも提供していく。

観光バス駐車場は、現在、奥の細道むすびの地近くの総合福祉会館駐車場と大垣公園内に駐車スペースを確保しているが、今後とも観光客の利便性を考慮し、乗降場所なども含めた駐車スペースの確保に努めたい。

観光ルートの設定は、奥の細道むすびの地をはじめ、大垣城、美濃園分寺跡、赤坂宿など名所・旧跡の魅力あるルート設定を行い、観光協会のホームページやパンフレットなどに掲載し、旅行者をはじめ、広くPRしていきたい。

芭蕉生誕三百六十年記念事業について

質問：芭蕉生誕三百六十年記念事業は、一年間のロングランで開催されるが、平成十二年に開催した決戦開ケ原大垣博の反省点を今回の記念事業の企画にどう反映

させていくのか。また、期間中の誘客予測人数、中心市街地周辺の経済波及効果記念事業に合わせた大垣名物料理と大垣銘品の開発はどう考えているのか。

回答：市では、俳聖・松尾芭蕉の生誕三百六十年を機に、市民協働による、おおがき芭蕉生誕三百六十年祭の事業を展開し、芭蕉翁の業績を改めて顕彰するとともに、歴史的、文化的財産の掘り起こしを行い、文化・交流産業の振興と中心市街地の活性化に努めていく。

本事業は、平成十五年度から取り組んでいる句碑の設置や茶の湯俳句会、芭蕉句碑めぐり、イルミネーションなどの事業をさらに発展充実させ、平成十六年度は四季を通して、まちづくりシンポジウムや東西全国俳句相撲、元禄芭蕉回廊大垣などの多彩な事業を企画している。

また、事業の実施に向け市内の各種団体の代表者を中心とした推進協議会を設立していただいた。

期間中の来訪予測人数は、市及び推進協議会などが実施する三十事業で約六十万八千人を見込み、経済波及効果は約二十億七千万円と試算している。さらに、同時開催される十万石まつり、まるごとパザールを含めて約九十二万人の誘客が見込まれ、経済波及効果は約三十億円となる。

名物料理の開発については、大垣商工会議所の食品部会、おいしい大垣の名物食開発グループにおいて、「芭蕉」、「おいしい水」、「薬草」を

キーワードに、大垣ならではの食品が開発され、これまでに、芭蕉水豆腐をはじめ十四品目が製品化され、販売されている。三百六十年祭を機に、これらの名物食を活用し、「芭蕉水御膳」として、観光客をおもてなしできるよう市内の飲食店や料理旅館等にお願いをした。

今後、市としても、新たな名物食として定着が図られるよう支援するとともに、旅行者や観光客などにPRし、観光客の誘客につながる仕組みづくりをしていきたい。

教育現場における紫外線対策について

質問：紫外線を極度に浴びると、しみやしわの発生だけでなく皮膚がん等を引き起こす原因とも言われている。平成十五年に、環境省から紫外線保健指導マニュアルが発行されたが、屋外で過ごすことが多い保育園児や幼稚園児などの紫外線対策はどうか。

回答：近年、オゾン層破壊による紫外線の増加が問題となっており、健康上、個人差はあるが影響を受けると報道されている。

合併に係る意向調査について

質問：合併は、住民にとって我がまちの将来を決める重要な問題であるが、大垣市の第四次総合計画の中に、合併は含まれていない。また、合併は含まれていない。また、昨年実施された市議会議員選挙においても、合併が投票の選択肢になつたとは言えない。住民一人ひとりの意思表示となる意向調査を実施すべきでないか。

回答：西濃圏域十市町の合併についての意向投票など

大垣市民病院に乳腺外科の設置を

質問：岐阜市民病院などには乳腺外科が開設されているが、大垣市民病院では乳がんの疑いのある患者診療は外科で行われている。女性が、安心して受診できるように、乳腺外科の設置を強く要望する。

回答：乳腺外科の開設は、最近の医療を取り巻く環境とTBSの多様化に伴い、乳腺外科を設け、主に女性特有の病気に対して診療を行う医療機関が見られるようになった。

現在、乳腺外科は、県内では岐阜市民病院に設置されているが、大垣市民病院での乳腺外科の開設については、今後の検討課題とした。



大垣市民病院の医療費の時効について

質問：景気の低迷が続く中、公共機関に係る滞納金額が増加していると聞くと、大垣市民病院の医療費の未

収金の時効はどうか。  
また、時効により不能欠損とする額は平成十四年度末でいくらか。

**答弁**…公立病院の医療費の時効は、地方自治法により、五年とされている。

大垣市民病院の医療費で平成十四年度末に時効により不納欠損処分した金額は千五百八万円余である。

個人未収金については督促の発送や訪問徴収の強化を図っていく。

### 安全・安心のまちづくりについて

**質問**…学校、通学路、公園など、児童・生徒を取り巻く環境が悪化し、その安全が脅かされている。公明党が本年一月に実施したアンケート調査結果で、地域の防犯対策として空き交番の解消、地域パトロールの強化、学校や通学路の安全確保、防犯ブザーの支給の必要性が指摘された。市の対応はどうか。

**答弁**…空き交番の解消については、近年の治安情勢の悪化により、国では警察官の増員計画が進められていると聞いており、本市としても関係機関へ要望していく。

地域パトロールの強化は、さわやかパトロールをはじめ、各種ボランティアにて地域安全パトロールが行われている。さわやかパトロールでは、下校時間帯の小中学校の通学路、公園のパトロールも行ってあり、市民から激励の声もい

ただいており、引き続き実施していきたい。

通学路については、入学説明時に、通学路を明記した校区地図を配布し、安全な道路を確保するよう通学路の周知徹底を図っているが、危険箇所は諸事情によって異なり、地域の意見をいただきながら、PTA等とも協力をし、各学校において毎年度末に安全な通学路の見直しを行っている。下校時は特に不測の事態が起こる可能性があるため、各校に依頼している子ども110番の家を見守り周知させ、緊急の際にはいち早く助けを求めるよう指導している。また、さわやかパトロールに安全点検や巡回指導をしていただいている。

防犯ブザーの貸与や支給については、今後検討していきたい。

さわやかパトロールに出発する隊員



### ポイ捨て防止と資源再利用にデポジット制の導入を

**質問**…欧州で家庭電化製品や自動車の回収などに定着しているデポジット制度を、空き缶、空き瓶、ペットボ

トル等空き容器的回収に導入し、環境美化と資源の再利用を促進する市民運動を全国に向けて発信できないか。

**答弁**…デポジット制度は製品本来の価格に容器的の預かり金を上乗せして販売し、使用後に容器的を所定の場所に戻したとき預かり金を返却する制度で、ポイ捨て防止にも効果があると言われている。

欧州では、生産者が製品の回収やリサイクルについても責任を持つ拡大生産者責任とデポジット制が定着しており、ドイツでは飲料、洗剤等の容器に数十円のデポジットを上乗せすることを法律で義務付けている。

我が国では、いまだ法制化はされていないが、今後は拡大生産者責任とデポジット制の導入に向け、市民団体と連携し、関係機関、関係団体に要望していきたい。

### バス事業者に対する支援策について

**質問**…誰にでも優しく、安心して乗車できるノンステップバスの導入補助は、交通バリアフリー法の施行後行っているが、平成十六年度は一台分しか予算計上されていない。これではバリアフリー化にブレーキがかかるのではないか。

**答弁**…バス事業者が行うノンステップバスの導入について

は、国の補助制度に基づき購入金額の一部を補助している。バス事業者の購入計画は平成十五年度から平成十七年度まで二台ずつ、計六台の計画を立てられたが、これまでの購入実績は、平成十三年度一台、平成十四年度二台、平成十五年度は一台であり、平成十六年度は、一台分の補助を予算化した。

路線バスの支援については、自主運行バス運行費補助制度、地域乗合バス路線維持費補助制度など、国、県の補助制度に合わせた支援を継続していく予定である。

### 防災対策について

**質問**…全戸配布されている大垣市地震防災マップには、防災備蓄倉庫、避難場所等が明確に記載されているが、各家庭に合う大きさで、地域別にするなど、避難場所等が見やすく確認できるように新たに作成してはどうか。

**答弁**…地震防災マップは避難場所、避難広場、救急備品設置のガソリンスタンド等を地図に記載するとともに避難時の心得なども載せ、いざというときに役に立つように作成し、平成十五年六月に全戸配布した。

### 用途変更と公害について

**質問**…日本耐酸塩工業(株)所在地の中曽根地区は、従来準工業地域であったが、今回同企業からの申し入

れにより、工業地域に用途変更されると聞く。工業地域は、環境基準(公害度)が緩和されるため、住宅の多い同地域は不安を抱く人も多い。公害など地域環境の悪化はないか。

**答弁**…準工業地域から工業地域への用途変更は、従前から工業の利便を増進する工業系の範囲内での変更で、立地企業が近隣環境の向上に資する設備整備を行うことを前提に、さらなる安定的な生産活動を支援するための用途変更である。

具体的には、立地企業から、環境にやさしい企業づくりのため、ガラス溶解炉の燃料を現在の重油から液化天然ガスに転換し、燃焼時ににおける窒素酸化物を大幅に減少させたり、硫酸酸化物や、ばいじんを発生させない排気を実現することで、周辺への臭気や人体への悪影響を減少させる浄化作用を高めたことと要請があった。

この燃料転換計画に伴い、現行用途で量が制限されているガスなどの危険物貯蔵を許容するための措置が必要となり、建築基準法上での対応なども勘案し、検討した結果、今回の計画は近隣環境へ好影響をもたらすものでないと認識し、最小限の区域に限定した上で、必要とされる危険物貯蔵が可能な用途地域へ変更することにした。

用途変更に伴う環境悪化への懸念については、今後の動向に留意し、具体的な設備整備の実施時の建築指導など、環境配慮への適切な対処を要請していく。

### 大垣駅北口広場の開発について

**質問**…大垣駅北口広場整備の進捗状況はどうか。地権者であるオーミケンシヤJR東海、また県や公安委員会との協議は進んでいるのか。

**答弁**…大垣駅北口線と北口広場については、平成八年一月に都市計画決定がされ、駅北口線は、県事業として平成八年度から事業着手され、平成十六年度の完成を目指し、整備を進めていただいている。

市事業である北口広場整備は、大垣市の駅北口の玄関であり、その重要性は十分認識している。現在の進捗状況は、平成十四年六月に大垣駅周辺交通環境検討委員会から提言いただいた大垣駅周辺交通結節点改善計画を受け、今年度は交通量調査等を行い、北口広場内の配置



大垣駅北口

計画の再検討を行っている。用地については、東海旅客鉄道株式会社所有の現駅前広場の代替用地を現在協議中であり、オーミケンシヤ株式会社所有の用地はおおむね了承をいただいている。協議が整い次第、整備を進めていきたい。

### マンション建設問題について

**質問**…鷹匠町でのマンション建設に反対運動があり、十一の自治会長の反対表明と二千九百三十四人の反対署名が提出された。市長は、建築主と住民が十分協議するよう対応するべき。

また、昭和四十三年指定の商業地域を、住居地域と商業地域に分けて見直すべきであり、建設計画が提出される以前に、小地域の地区計画作成の援助をするべきではないか。

**答弁**…マンション建設にあたっては、紛争の予防のため、一定規模以上の建物については、近隣への周知を目的に、説明会の開催、個別訪問による説明など、何らかの事前説明を行うよう指導している。今後とも、地元説明会の徹底など、建築主と地域住民が十分協議し、住民理解のもとで建築されるよう、事業者に対し、積極的な指導や要請を続けていく。

商業地域と住居地域の見直しについては、商業地域の指定主旨は、主に商業その他業務の利便を増進するものであり、建物規制面では比較的土地の高度利用を認め

### あなたも本会議を傍聴してみませんか。

傍聴する前に傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入ください。

- ・傍聴される方は、直接市庁舎4階の傍聴席へお越しください。
- ・傍聴席は、75席(うち、車いす席4席)

#### ～傍聴者に守っていただくこと～

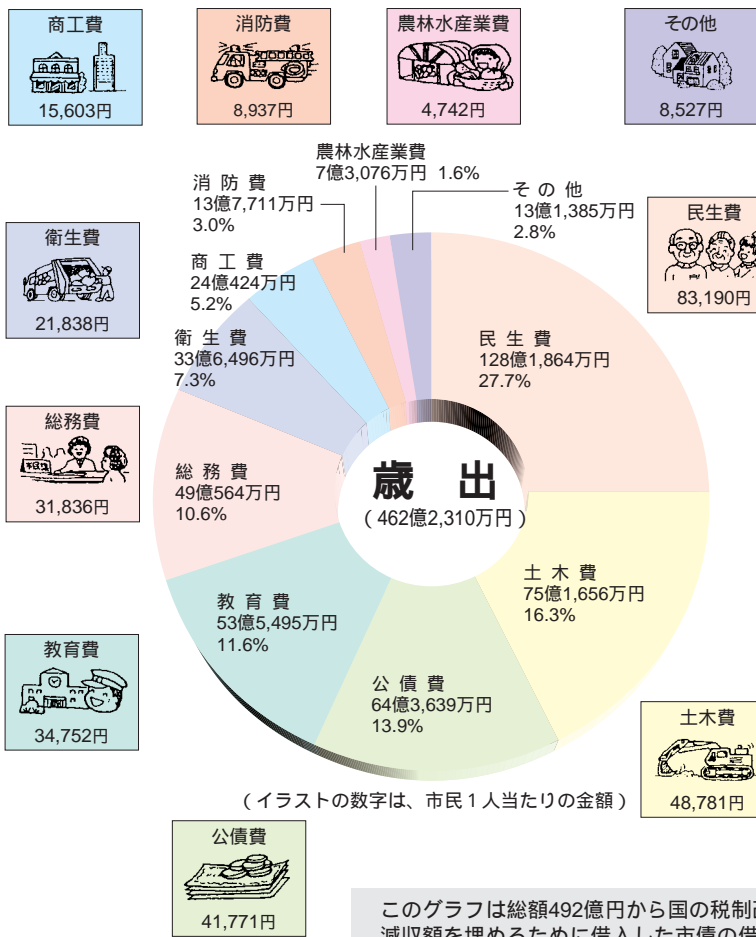
- 議場内の言論に拍手等で可否表明をしない。
- はち巻き、腕章、帽子等を着用しない。
- 飲食や喫煙をしない。
- 議長の許可なく写真撮影や録音をしない。
- 議会の妨害をしない。
- 携帯電話の電源は入れない。

※団体で傍聴を希望される方は、事前に議会事務局へご連絡ください。(議会事務局/電話81-4111 内線734)

る地域であり、高層マンション等の立地も許容される現状である。中心市街地の活力を生み出すために必要な商業・業務施設の立地以外にも、にぎわいを創出する都心居住のための仕掛け、仕組みづくりなど環境整備が重要な要素であり、現状の土地利用状況を分析し、地域住民の意向など地域的な特性等を十分勘案し、都市計画の見直しに合わせて適切な用途指定も検討していく。

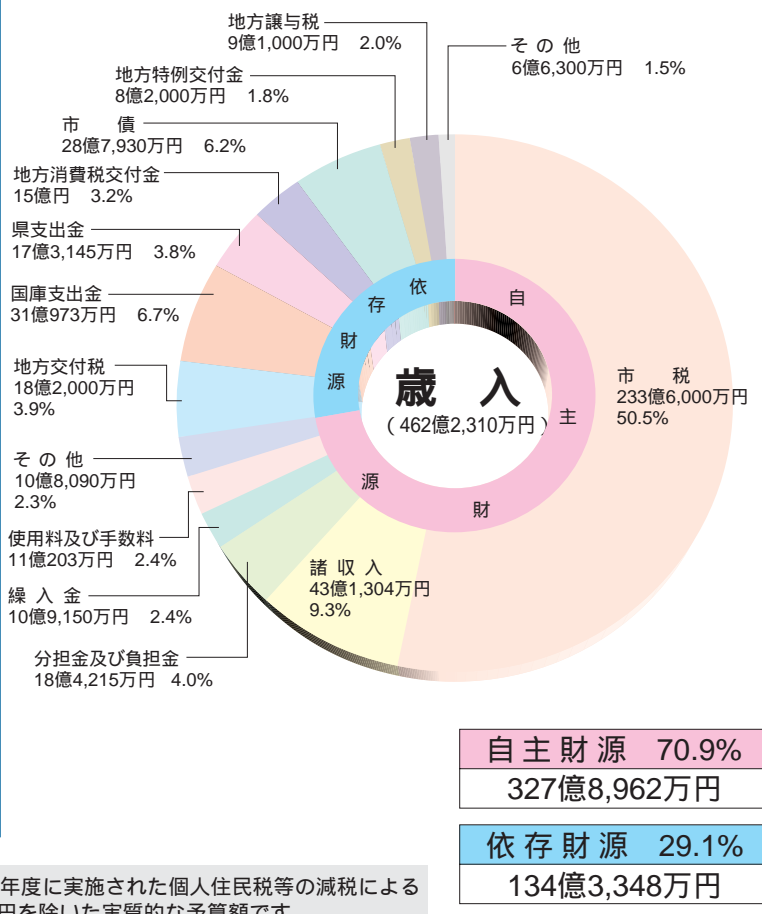
めに必要な手続条例を定め、既に道路整備を中心とした計画や工場用地の再開発のための計画決定などの事例がある。住民が主体的に参画できる小地域で行うまちづくりのルールとして、地区計画や建築協定制度などがあるが、直面する問題がない段階では地域合意が困難であるなど、かわりにくい制度であり、今後さまざまな機会を通じて、市民が主役で進めるまちづくりの手法としてのPRに努め、議論し、課題解決に努力していきたい。

### 平成16年度大垣市一般会計予算(歳出)



## グラフで見る 平成十六年度一般会計予算

### 平成16年度大垣市一般会計予算(歳入)



このグラフは総額492億円から国の税制改正により平成7・8年度に実施された個人住民税等の減税による減収額を埋めるために借入した市債の借換え分29億7,690万円を除いた実質的な予算額です。

#### 北朝鮮による拉致事件の早期全面解決を求める意見書

日朝首脳会談で、金正日国防委員長が日本人拉致事件の事実を認めたとにもかかわらず、拉致事件の真相究明と解決は進んでいない。6カ国協議等においても、北朝鮮はかたくなな姿勢に終始している。

拉致事件は、日本の主権と日本人の人権をじゅうりんするとの見地から、拉致被害者及びご家族を初め、国民の理解が得られるよう、毅然とした態度で北朝鮮に真相究明を求めていくべきである。そのため、不審船舶の入港規制に係る法整備、正式な文書での謝罪、拉致被害者やご家族への補償、拉致被害者の全面的な解放と永住帰国、責任者の処罰、再発防止、認定されている被害者以外の拉致疑惑の解明、原状回復を一たん実現した上での自由往来、改正外為法による経済制裁発動の措置を講じるなど、強い姿勢で拉致事件の早期解決に向けて、全力で取り組まれることを強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年3月19日  
大垣市議会

#### 意見書

第一回市議会で可決された意見書は、次のとおりです。

北朝鮮による拉致事件の早期全面解決を求める意見書  
国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣に実現を要望するものです。

#### 第一回定例会で可決した主な条例

一、大垣市緑を育み生かす条例の制定について(平成十六年四月一日等から施行)

二、大垣市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

三、大垣市企業立地促進条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

四、大垣市駐車場条例の一部改正について(平成十六年五月一日から施行)

五、大垣市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

子育て支援等の充実を図るため、乳幼児医療費のうち入院に係る医療費の助成について、対象年齢を現行五歳未満の子から小学校就学の始期までの子に拡大するもの。

市民病院の内科での治療に求められるより高度な専門性に対応するため、内科の診療科目を総合内科、糖尿病腎臓内科、血液内科及び神経内科に分けるもの。

緑に対する新たな市民意識やニーズに対応し、心やすらぐ緑の都市の宣言を具体化するため、大垣市緑化推進条例の全部を改正。

大垣市乳幼児医療費の助成に、平成十六年四月一日から施行する。

大垣市乳幼児医療費の助成に、平成十六年四月一日から施行する。

大垣市乳幼児医療費の助成に、平成十六年四月一日から施行する。

大垣市緑を育み生かす条例の制定について(平成十六年四月一日等から施行)

大垣市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

大垣市企業立地促進条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

大垣市駐車場条例の一部改正について(平成十六年五月一日から施行)

大垣市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)

(平成十六年四月一日から施行)

企業立地の促進を図るため、適用事業者の拡大、奨励金の交付基準の緩和及び額の引上げをするほか、所要の改正。

大垣市駐車場条例の一部改正について(平成十六年五月一日から施行)

大垣市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について(平成十六年四月一日から施行)